

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組	
				計	画	課 題		
1	公益社団法人高知県防犯協会 (正会員16団体、賛助会員114団体)	1	○少年警察ボランティア協会、警察との連携	○少年警察ボランティア協会および警察と連携した効果的な支援の実施 ○青色回転灯装備車両(防犯パトロール車)の活動支援	○警察と連携し、少年のインターネット犯罪被害防止活動を支援した ○青色回転灯装備車両(防犯パトロール車)の活動を支援した		○少年警察ボランティア協会、警察とのさらなる連携の強化	
			1 2 3 4	○各地区地域安全協(議)会との連携	○各地区地域安全協(議)会に広報啓発用資料を提供するなど、効果的な活動を支援する ○高齢者や子どもの犯罪被害防止と少年の健全育成活動への支援を強化する	○各地区地域安全協(議)会に広報啓発用資料を配布した ○特殊詐欺被害防止広報用に作成した「特殊詐欺をミヤぶれービスケット」を配布した ○各地区で開催された不審者対応教室への支援を実施した		○各地区地域安全協(議)会との連携強化
			5	○ポスター・チラシ等の配布による広報活動の推進	○ポスター、チラシ、リーフレット等の配布による広報活動の推進	○全国地域安全運動のポスター、チラシを配布した ○管理者講習にあわせて風俗環境浄化活動用パンフレットを配布した		○広報啓発活動の推進
2	高知県地域安全アドバイザー連絡会 (14地区、アドバイザー16名)	1 2 3 4	○各種広報啓発	○社会の情勢に応じ、従来の方法にとられない、あらゆる媒体を活用した広報啓発活動により、地域住民の安全安心まちづくりに対する意識高揚を目指す。	○新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベント・防犯教室等の制限があったが、各地区の犯罪発生状況に応じた地域安全ニュースの発行・配布等により、地域住民の防犯意識の高揚を図った。 また、「地域安全ブログ」の投稿回数を増やし、あらゆる世代に向けた地域安全情報の発信に努めた。	○今後の新型コロナウイルス感染拡大等の情勢に応じて、活動が制限される可能性がある。	○社会の情勢に応じ、従来の方法にとられない広報啓発活動により、地域住民の安全安心まちづくりに対する意識高揚を目指す。	
			1 2 3 4	○各種防犯教室の開催	○警察や学校、老人クラブ等と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室、高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。 創意工夫をこらし、各種教室の内容を充実させる。	○警察等と連携し、幼稚園、保育園及び小学校における誘拐被害防止教室、不審者対応訓練を実施した。 また、高齢者を狙ってATMへ誘導し、指定口座へ送金させる還付金詐欺被害が増加したことから、あらゆる機会を通じて、高齢者に対する犯罪被害防止教室等を開催した。	○老人クラブ等に加入していない高齢者等への広報啓発方法を検討する必要がある。	○警察、学校、老人クラブ等と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室や高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、創意工夫をこらした各種教室を開催する。
			1 2 3 4	○地域安全活動の強化	○「通学路安全の日」等各種強化日には、学校等の関係機関、保護者、地域住民、防犯ボランティア団体と連携して、安全対策に取り組む。 各種活動強化日の定着を図るため、各種広報紙や会議等を通じて、地域住民等に参加を呼びかける。	○地域住民、防犯ボランティア等と協力したパトロール、広報キャンペーン等を実施した。 また、「通学路安全の日」には、各地区において、子ども見守り活動等を実施した。	○今後の新型コロナウイルス感染拡大等の情勢に応じて、活動が制限される可能性がある。	○「通学路安全の日」、「特殊詐欺被害ゼロの日」等の各種活動強化日には、学校等の関係機関、保護者、地域住民、防犯ボランティア団体等と連携して安全対策に取り組む。 各種活動強化日の定着を図るため、広報紙や会議等を通じて、地域住民等に参加を呼びかける。
			1 2 3 4	○広報啓発行事	○全国地域安全運動期間中に、各地区の特性・犯罪発生状況に応じ、警察及び関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識を向上させる。	○新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベント等の制限があったが、規模を考慮した各種教室、地域安全イベント、広報キャンペーン等を実施し、防犯意識を向上させるための広報啓発に努めた。	○今後の新型コロナウイルス感染拡大等の情勢に応じて、活動が制限される可能性がある。	○全国地域安全運動期間中に、警察や関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識の向上を図る。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組	
				計 画	実 績	課 題		
3	高知県タウンポリス 連絡協議会 (81団体、5,961名)	1	○地域の見守り活動の実施	○各地域の犯罪発生状況等を踏まえつつ、関係機関等と連携し、防犯パトロール及び子供見守り活動を強化する。 また、日常生活の中で防犯の視点を持って子供の安全を見守る「ながら見守り」を推進する。	○警察・学校や地域住民と連携し、通学路安全の日等における子供見守り活動や、不審者情報を認知した際の防犯パトロール等を実施した。 また、公園や道路の美化活動をしながら子供を見守る「ながら見守り」を実施した。	○会員の高齢化が進み、若い世代や現役世代の会員確保が課題である。 また、活動経費の確保が課題である。	○各地域の犯罪発生状況等を踏まえつつ、関係機関等と連携し、防犯パトロール及び子供見守り活動を強化する。 また、日常生活の中で防犯の視点を持って子供の安全を見守る「ながら見守り」を推進する。	
			1 2 3 4	○全国地域安全運動等の啓発活動への参加	○関係機関が実施する全国地域安全運動等の啓発行事に参加する。	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種イベント等が制限されたが、警察等と連携し、感染防止に配慮した各種啓発活動を実施した。	○会員の高齢化が進み、若い世代や現役世代の会員確保が課題である。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した啓発活動等を検討する必要がある。	○関係機関が実施する、全国地域安全運動等の啓発活動に参加する。
			2 3 4 5	○総会の開催	○会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会を開催する。	○令和3年11月に開催し、県内の犯罪情勢等について情報提供するとともに、中国・四国ブロック防犯ボランティアフォーラムにおける他県の防犯活動等について紹介する等し、防犯意識の高揚を図った。	○総会の内容を充実させ、防犯活動の活性化を図る必要がある。	○会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会を開催する。
4	高知県民生委員児童 委員協議会連合会 (72団体・約2500人)	1 2 3 4 5	○ブロック及び市町村単位での取り組み	○高齢者や障害者、生活困窮世帯、子育て家庭等、生活課題を抱えた個人が地域社会から孤立しないよう、地域に根差した各種保健・福祉分野や地域における多様な機関・団体との連携を深めながら、安心した生活のできる地域づくりに取り組んでいく。 また、個々の委員を支える民児協の組織活動においては、課題解決に向けた一体的な組織活動の推進やブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。 ただし、引き続き新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、可能な範囲においてそれぞれの地域において取り組むこととする。	○高齢者や障害者、生活困窮世帯、子育て家庭等、生活課題を抱えた個人が地域社会から孤立しないよう、地域に根差した各種保健・福祉分野多様な機関・団体との連携を深めながら、安心した生活のできる地域づくりに取り組んでいく。 地域福祉推進部会では、認知症高齢者に対する地域での支援状況や関係機関との連携状況の把握に努め、地域の現状と課題を各市町村の民生委員で共有した。	○それぞれの地域によって、地域の歩んできた歴史や地域特性、社会資源の量や質、地域の課題も多様なため、県民児連として画一的な方針の打ち出しが困難である。そのため、各法定民児協との情報共有を重ね、連携を深めながら、それぞれの地域の実情に応じた柔軟な支援方針の在り方を検討していく必要がある。	○前年度に引き続き、本年度も地域単位で、支援を要する高齢者や障害者、子育て家庭等が他地域社会から孤立しないよう、各種福祉・保健関係者と連携を深めながら、安全で安心した地域づくりが進むよう取り組む。 また、各市町民児協と課題解決に向けた一体的な組織活動を推進し、ブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。	
			1	○子どもの支援の充実	○虐待や非行といった児童問題についての現状や、子育て家庭への支援について情報交換・協議するとともに、子ども食堂の取り組みなどの社会情勢に合わせた柔軟な研修会を継続して開催していく。	○児童委員専門部会では、昨年度に引き続き、「子どもの貧困の連鎖を断ち切るために」をテーマとし、本県における貧困世帯の状況把握、各支援制度やひとり親家庭の状況把握に務めた。 また、高知県子ども・子育て支援課を講師に招き、ヤングケアラーに関する国の施策や定義に関して情報提供と意見交換等を行った。	○市町村によって、関係機関との連携や情報共有に差が生じている。そのため、必要な情報が児童委員・主任児童委員に行き届かないまま「見守り」のみを求められている現状も見受けられる。 守秘義務が課せられる児童委員・主任児童委員としての信頼性を確保するとともに、主任児童委員としての役割について一層の周知を行う必要がある。	○虐待や非行、ヤングケアラーといった児童問題についての現状把握や、子育て家庭への支援について、関係機関と連携しながら協議する。 また、主任児童委員研修や児童委員専門部会等の開催を通して、児童委員・主任児童委員活動の充実や活動意欲が高まるように務める。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組	
				計 画	実 績	課 題		
5	公益財団法人高知県老人クラブ連合会 (令和3年4月現在 クラブ数649、会員数 23,190名)	2	○会報紙等での啓発活動の実施	○研修会や大会等の機会を捉えて啓発を行う。また、啓発を促す記事を機関紙に掲載し、全会員に配布する。	○「安全安心まちづくりだより」(令和3年度第4号)を県内の全老人クラブに送付し、会員への周知を図った。 また、当会の封筒に高齢消費者被害防止を図るための標語を印刷し、詐欺に遭わないよう啓発を図った。		○当会の会報誌に子どもの見守り活動や詐欺被害防止、交通安全等に関する活動記事を掲載し啓発を図る。 また、当会の封筒に高齢消費者被害防止を図るための標語を印刷し、詐欺に遭わないよう啓発を図る。	
			1 3	○地域見守り活動の促進	○「地域支え合い事業」や「若手高齢者組織化・活動支援事業」のモデル老連の取り組みの中で見守り活動等を実施していく。 また、高齢者などを事故や事件から守るため、各市町村老連において総会や研修会の際に関係機関に依頼して啓発講座を開催してもらうように依頼する。	なし	○コロナウイルス感染症のため研修会等の開催が制限されている。	○市町村老人クラブにモデル事業として委託して実施する「地域支え合い事業」のメニューに子どもの見守り活動や生活安全活動等を盛りこむことで活動の促進を図る。 また、実施された事業は、当会の会報紙に掲載し、活動の周知を図る。
			3	○交通安全への啓発活動	なし	○RKC高知放送から寄贈を受けた夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布するとともに、当会の機関紙に寄贈を受けたことを掲載することにより、会員への交通安全の啓発を行った。	○毎年度、寄贈を受けられるか未確定	○令和4年度においてRKC高知放送から寄贈を受けた場合は、夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布するとともに、当会の会報紙に寄贈を受けたことを掲載することにより、会員への交通安全の啓発を行う。
6	高知県連合婦人会 室戸市連合婦人会 (約400名)	2	○特殊詐欺から身を守る	○年金支給日や不審電話に注意する	○高知市内の公民館や集会所などで、警察署女性職員による詐欺被害防止の講話を聴講。	○プロジェクター等の機材がないため、今後はパソコンなどを使用した講話としたい	○実際に被害にあいそうになった方を訪ね、そのときの様子を聞く。	
			3	○高齢者の事故防止活動	○自らが歩行者やドライバーとして自覚する	○高齢者が月二回集まる公民館、集会所、高齢世帯を訪問し交通事故にあわないよう、呼びかけや啓発活動を行った。	○コロナ禍により、長時間の啓発活動が困難な場合があり、伝わりにかけることがある	○高齢者宅訪問で日暮れ時の出歩くときの服装を目立つようにする等の啓発。
7	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 (会員770団体)	5	○地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進	○関係機関との協働の中核を担い、多様な地域課題に対応できるよう、市町村社協の組織体制強化と社協職員の体系的な研修の実施 ○包括的な支援体制づくりの構築に向けた重層的支援体制整備事業の活用が図れるよう、県と連携した後方支援を実施	○市町村で実施される生活困窮者自立相談支援事業の運営を支援するとともに、日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業等との連携を推進 ○生活困窮者自立相談支援事業の任意事業である就労準備・家計改善支援事業の実施 ○生活困窮者支援ツールとして、全県的なフードバンク事業を実施 ○困難を抱える女性を支援するため市町村や学校、市町村社協等を通じた生理用品の配布及び相談機関の周知 ○生活支援コーディネーター及びあったかふれあいセンター職員を対象に、階層別に研修を実施 ○包括的な支援体制づくりに向けて研修会を開催するとともに、市町村、市町村社協、県、県社協の四者による協議、検討を実施	○市町村社協の活動や組織体制の強化 ○包括的な支援体制づくりに向けた行政及び関係機関との連携強化	○関係機関との協働の中核を担い、多様な地域課題に対応できるよう、市町村社協の組織体制強化と職員への体系的な研修の実施 ○市町村における包括的な支援体制づくりの構築に向けて、行政と市町村社協との連携強化をサポートするとともに、重層的支援体制整備事業の活用が図れるよう県との連携した後方支援を実施	

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計	画	課 題	
7	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 (会員770団体)	5	○地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進	○災害ボランティア活動支援に係る体系的な研修の開催 ○ブロック単位での市町村社協の広域連携体制づくり及びバックヤード拠点の整備 ○受援体制の構築	○市町村災害ボランティアセンターのバックヤード拠点として予定する県内2カ所の設置具体化に向けた取組を実施 ○災害ボランティアセンター運営基礎研修、中核スタッフ研修、所長予定者会議の開催	○災害ボランティアセンター体制強化支援 ○災害ボランティアセンター、バックヤード拠点、県災害ボランティア活動支援本部の連携における強化及び受援力強化	○災害ボランティア活動支援に係る体系的な研修の開催 ○市町村社協による災害ボランティアセンターの体制強化に向けた個別支援 ○災害ボランティアセンター活動支援本部とバックヤード拠点との連携及び受援体制を含めた体制強化
			5	・地域の実状に応じた支え合いの仕組みづくりが推進されるように、市町村社協と市町村行政との一体的な事業展開に向けた伴走型の支援の実施 ・地域福祉活動計画の改定が予定される市町村社協を支援	・市町村社協や関係機関への高知県地域福祉活動支援計画の周知 ・地域での支え合いの仕組みづくりの検討や組織体制強化を進める市町村社協を支援 ・15市町村の地域福祉活動計画の改定を支援	○新型コロナウイルス感染拡大に配慮した地域の実情に応じた仕組みづくりの推進	○地域の実状に応じた支え合いの仕組みづくりが推進されるように、市町村社協と市町村行政との一体的な事業展開に向けた伴走型支援の実施 ○地域福祉活動計画の改定が予定される10市町村社協の取り組みを支援
			1	・子どもの居場所づくりの県内全域への普及推進及び食材提供の持続可能な取組等の支援 ・引き続き、子どもの居場所開設準備の支援	・子ども食堂開設及び運営の支援 ・企業等からの食材提供に対し、関係機関と連携してニーズに応じた食材マッチングを行い、子ども食堂を支援	○県内全域への普及、安定的な運営支援	○子ども食堂の開設及び運営支援 ○子ども食堂の県内全域への普及推進及び食材提供に関する持続可能な取組等の支援
8	一般社団法人 高知県交通安全協会 (17支部、約900名)	1 2	○見守り活動の実施、啓発活動の実施、会員への意識啓発	○交通安全運動等の街頭啓発活動に併せ、事故防止とともに高齢者や子どもを犯罪の被害から守るための見守り活動も実施する	○県民交通安全日等、各種交通安全街頭指導において、交通事故の防止とともに高齢者や子どもを犯罪の被害から守るための見守り活動も併せて行った。	○現在の活動員が高齢化している為、若手の活動会員の人員確保と育成など	○令和3年度と同じ
9	高知県交通安全指導員協議会 (34支部、276名)	1 3	○地域見守り活動の実施	①各交通安全運動期間中や各安全日等の街頭指導を行い、通学路では児童・生徒の登下校時の見守り活動を行う。 ②各地域での行事等で交通整理や誘導を行い、事故防止に努める。	○各交通安全運動期間中や毎月の交通安全日の街頭指導にて、子供や高齢者の保護誘導を行い、通学路では児童・生徒の登下校時の見守り活動を行った。 ○各地域での行事等で交通整理や誘導を行い、事故防止に努めた。	○啓発場所が限られてくる。 ○人員、時間の確保	①高齢者・子どもの交通事故原因・行動性等を踏まえ、交通環境、安全施設の点検・整備に努める。 ②運転者に対し、高齢者・子どもを始めとする、交通弱者への思いやりのある運転の指導・啓発活動を推進する。
			○世代間交流(健全育成)	①自転車マナーアップキャンペーン期間中に、学生、高齢者を対象に自転車の事故防止の街頭指導、啓発を行う。また、学校に向き自転車車の正しい乗り方や危険走行防止の教室を実施する。 ②新入学児童に対して、交通安全に適用出来るよう、安全教室等に向き交通安全ルールを指導する。	○自転車マナーアップキャンペーン期間中に、関係機関と協力し、高齢者や学生に啓発物を配布し、安全運転を呼びかけ事故防止を図った。 ・自転車マナーアップキャンペーン(5/1～5/31) ○保育所や幼稚園での新入学児童への交通安全教室開催、交通安全啓発物の配布を行い、交通ルールについて指導した。	○呼びかけだけでは効果が少ない。 ○人員の確保	①自転車利用者に対して、交通安全指導、反射器材の取付け、ライトの夜間点灯の啓発活動を推進する。 ②自転車損害賠償保険加入・自転車安全利用5則による広報啓発 ③飲酒・妨害運転「あおり運転」の根絶 ④自転車・車等の携帯電話使用禁止
		○高齢者訪問活動の実施	①高齢者1万人訪問活動において世帯訪問などを行い、高齢者に対して交通事故防止や振り込め詐欺等被害防止の啓発を行う。	高齢者1万人訪問活動を関係機関とともにを行い、県内の高齢者に対して、交通事故防止、振り込め詐欺等被害防止の啓発を行った。コロナウイルス感染拡大防止のため高齢者宅訪問は一部中止のところもあり。 ・高齢者1万人訪問活動(9/1～12/31)	○訪問時間帯の選択	①高齢者世帯訪問などを行い、高齢者に対して交通事故防止や振り込め詐欺等被害防止の啓発を行う。 ②量販店、病院等、高齢者の集まる場所で啓発活動	
10	高知県交通安全母の会連合会 (22支部)	1 3	○地域見守り活動の実施	①各交通安全運動期間中や各安全日等の街頭指導を通じて、子供や高齢者の見守り活動を行う。 ②ドライバーサービスにて、運転者に「思いやり運転」を呼びかける。	○各交通安全運動期間中や毎月の交通安全日の街頭指導にて、子供や高齢者に交通安全を呼びかけ見守り活動を行った。ドライバーサービスにて、啓発物を配布しながら思いやり運転を呼びかけ、事故防止を図った。	○人員、時間の確保	①各交通安全運動期間中や各安全日等の街頭指導を通じて、子供や高齢者の見守り活動を行う。 ②ドライバーサービスにて、運転者に「思いやり運転」を呼びかける。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計	画	実 績	
10	高知県交通安全母の会連合会 (22支部)	1 3	○交通安全教室の開催	①高齢者を対象とした交通安全教室を開催し交通安全意識の向上を図る。 ②新入学児童に対して、交通社会に適応出来るよう、交通安全教室等に出向き交通ルールを指導する。	○小・中学校での新入学児童への交通安全教室の開催。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止) ○交通安全啓発物の配布を行い、交通ルールについて指導した。	○呼びかけだけでは効果が少ない。 ○人員の確保	①高齢者を対象とした交通安全教室を開催し交通安全意識の向上を図る。 ②新入学児童に対して、交通社会に適応出来るよう、交通安全教室等に出向き交通ルールを指導する。
			○高齢者訪問活動の実施	○高齢者ふれあい出前事業や1万人訪問活動にて、高齢者世帯訪問を行い、交通事故防止の呼びかけに併せて振り込め詐欺等防止の啓発を行う。	○関係機関とともに高齢者出前ふれあい事業や高齢者1万人訪問活動を行い、高齢者に対して交通事故防止、振り込め詐欺等被害防止の啓発を行った。	○訪問時間帯の選択	○高齢者ふれあい出前事業や1万人訪問活動にて、高齢者世帯訪問を行い、交通事故防止の呼びかけに併せて振り込め詐欺等防止の啓発を行う。
11	高知県少年警察ボランティア協会 (17地区、443名)	1 4 5	○機関紙への掲載	○機関誌「さぼーと」に県下の活動状況を掲載して、県内の各地区会員及び関係機関等に配布し、活動の充実及び活性化を図る。	○県内各地区の特色を活かして実施した安全安心まちづくり活動を機関紙「さぼーと」(年1回3月、600部作成)に掲載し、会員及び関係機関等に配布して、会員等の活動意欲の醸成を図った。	○少年警察ボランティアの活動に対する県民の理解を得て、地域ぐるみで少年の健全育成の社会気運を醸成する必要がある。	○各地区の少年警察ボランティアの活動状況を紹介する機関誌を有効活用して情報共有と共に連携を図り、活動の充実と活性化に繋げる。
			○見守り活動の実施	○県民から理解を得ることができるよう活動内容に工夫を凝らし、地域の情勢に即した街頭活動を実施する。	○少年警察ボランティアの活動状況【令和3年中】 街頭補導活動:265回(延べ776人参加) 各地区ボランティアが、関係機関、団体等と連携し、地域に密着した街頭補導活動を実施した。	○活動の効果を上げるため、関係機関、団体との連携を深め、地域の実情に即した取組を継続する必要がある。	○各地区や地域の実情に合わせた街頭補導活動や通学路での見守り活動等の街頭活動を実施し、効果的な取組を図る。
			○啓発活動への参加	○関係機関・団体との良好な関係を保持し、お互いの特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。	○各地区ボランティアが、関係機関、団体等と連携し、地域安全運動等の行事に参加して、地域住民と一体となった少年の健全育成や地域安全について啓発した。	○県民の理解と協力を得るために、活動の趣旨を明確にして広報し、親しみやすい活動にする必要がある。	○関係機関・団体との良好な関係を保持し、お互いの特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。
			○研修会等での呼びかけ	○総会及び研修会を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで活動の充実と活性化を図る。	○高知県少年警察ボランティア協会の研修会をオンラインを併用して開催。 また、各地区においても可能な範囲での総会や研修会を開催し、子どもの見守り活動や鍵掛け運動の推進等について意見交換し、活動の充実と活性化を図った。	○多くのボランティアが気軽に参加できるよう、オンラインや開催場所など工夫を凝らした形の研修会等を検討する必要がある。	○総会及び研修会等を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで安全安心まちづくり活動の充実と活性化を図る。
12	公益財団法人 高知県身体障害者連合会 (33団体、約2,500名)	1 2 3 4	○会員への意識啓発	○高知県身体障害者連合会の各種会議・研修会を通じて安全・安心まちづくりについての啓発を行う。	○市町村身体障害者団体指導者研修会で「安全安心まちづくりニュース」、「くらしネットkochi」及び「安全安心まちづくりだより」を資料提供して安全安心まちづくり活動や特殊詐欺、鍵かけ、犯罪及び交通事故の状況等の紹介、啓発、注意喚起を行った。	○直接の効果の把握	○高知県身体障害者連合会の各種会議・研修会を通じて安全・安心まちづくりについての啓発を行う。
13	高知市老人クラブ連合会 (119クラブ、4,562人)	5	○広報紙(機関紙)への掲載	○くらしネットの配布協力 ○館内への啓発ポスター掲示	○南部健康福祉センター老人憩所及び西部健康福祉センター、高齢者いきいきセンター内での配布協力を行った。 ○上記館内掲示板に啓発ポスターを掲示した。		○くらしネットの配布協力 ○館内への啓発ポスター掲示

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計	画	実 績	
13	高知市老人クラブ連合会 (119クラブ、4,562人)	1 2 3 4	○地域見守り活動の実施	○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続 ○地域における児童の見守り活動の継続	○新入学児童の登下校時の見守り活動を実施した。 ○各クラブの自主的活動により継続的に実施できた。		○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続 ○地域における児童の見守り活動の継続
			○地域見守り活動の実施	○クラブの友愛活動の中で、閉じこもりがちな高齢者に対して訪問と電話活動で見守り活動を継続する。	○未実施	○コロナ禍で訪問自体が敬遠されることもあり、全体的に活動が低下している。	○地域共生社会づくりの上では重要な取り組みであるため、今後ともクラブの友愛活動の中で、閉じこもりがちな高齢者に対して訪問と電話活動で見守り活動を推進する。
		1 2 3 4	○研修会等での呼びかけ	○ブロック研修会や活動の中で時宜に応じた講師や内容に工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデイサービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施	○ミニデイサービス事業への所轄署高齢者アドバイザーによる交通安全教室を実施した。実施か所7箇所、回数9回、参加者136名		○ブロック研修会や活動の中で時宜に応じた講師や内容に工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデイサービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施
		3	○交通安全教室		○市老連女性部が主催する「女性大学」の学習課程において、南警察署の協力を得て交通安全教室を開催した。		○今後とも女性大学の学習課程に組み込んでいく。
14	高知県安全・安心のまちづくりみのり会 (約10名)	2 3	○見守り活動への若者層の参画		○青年団・大学生に向けて交通安全や特殊詐欺防犯をテーマにした学習会(講師は地域で見守り活動をされている方)	○地域(団体)とのマッチングに至らず、学習のみで終わってしまう。	○令和3年度と同様に学習会を行い、参加者が暮らす地域で見守り活動に年数日でも参加する流れを作る
		1	○見守り活動を「地域コミュニティ」「まちづくり」として関係者・地域・行政に認識・位置づけとなるきっかけにする		○これまで見守り活動に携われて来られた地域の方を取材し、見守りの思いや考えをまとめる	○活動紹介になり、なかなか「思い・考え」を引き出せない	○令和3年度と同様に、みのり会メンバーを中心に取材を行い、冊子にまとめる
		2	○特殊詐欺防犯寸劇		○コロナ禍の為披露する機会がなかった	○活動紹介になり、なかなか「思い・考え」を引き出せない	○敬老会など地域の行事で披露する
15	あさひの子どもを守る会 (55名、1団体1名)	1 3	○地域で見守り活動	○小学校全登校日の登下校時の見守り/パトロール、通行量最大交差点(約300人)での安全確保・指導 ○雨天時ほかを除く下校時における横内小・旭小学校通学路での青バトによるパトロール ○月1回自転車夜間照明点灯の指導・安全指導 ○第3火曜日の夕刻に全員等によるパトロール等を実施する。	○登下校時同伴/パトロールを実施した 横内小:全登校日 旭小:週1回 ○交通頻繁な交差点(利用児童約300人)での安全確保・交通指導(横内小全登校日)を実施した ○第3火曜日の夕方(5時~7時)会員、民生委員児童委員等による地域内のパトロールを実施した ○毎月15日(土日・祝日の場合は翌日)の夕方、主要交差点での自転車点灯指導を実施した ○会員が町内に出かけるときには、会指定の帽子をかぶって住民に見守り活動をしていることをPRした	○会員の高齢化等によりボランティアの参加が減少している	○令和3年度に準じて実施する
			○安全安心啓発パレードの実施	○旭西部地区内において安全安心啓発パレードを実施する	○コロナにより中止した		○令和3年度に準じて実施する
		2 3	○特殊詐欺防止の取組	○特殊詐欺防止等の広報啓発活動を実施する	○毎週火曜日実施の「いきいき百歳体操」等の機会に広報啓発活動を実施した		○令和3年度に準じて実施する

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
15	あさひのこどもを守る会	1 2 3 5	○定例会・交流会を開催し、情報交換等を実施	○3か月に1回実施する	○6月、9月に実施(コロナにより、12月、3月は中止) 参加全員(コロナにより12月の交流会は未実施)		○令和3年度に準じて実施する
16	高知県更生保護女性連盟(県下13地区、696人)	5	○広報	○全年度取組計画の内容	○地域の掲示板等に安全安心まちづくりポスターを掲示した		○地域の掲示板等に安全安心まちづくりのポスターを掲示
		1	○地域見守り活動の実施	○全年度取組計画の内容	○新型コロナウイルス感染症防止の観点から未実施	○会員数の減少や高齢化のため若い世代を育てたい ○会員数の減少や高齢化のため参加者が限られる ○会員数の減少および高齢化のため交替要員がほしい	○各地区において、小学校通学路で新入学児童等の見守りおよびあいさつ運動を実施(4月に重点的に実施) ○地区において、子ども食堂に対し、支援、協力を実施 ○各地区において小学生を対象に交通安全教室を実施 ○地区において、青少年育成センター等から不審者情報があればすぐに小学校と連携して、注意喚起する等、登下校の見守り活動を実施 ○地区において青色回転パトロール車を防犯の呼びかけ、見守り活動を実施 ○地区の小学校で夏休み前の児童に、夏休み中の行動について注意してほしいことなどを呼びかける ○地区の高齢者世帯を個別訪問し特殊詐欺や交通事故に遭わないよう被害防止を呼びかける
		1 3 5	○社会を明るくする運動の一環として呼びかけ活動を実施	○全年度取組計画の内容	○社会を明るくする運動の一環として犯罪予防を呼びかける標語を中学生から募集し、町内の掲示板等に掲示した	○地区により会員の参加者が少ない	○社会を明るくする運動期間中、小学校において、相撲大会やドッジボール大会、中学生のソフトボール大会を予定し、地域住民に対する犯罪予防の啓発活動を実施 ○防犯を呼びかける標語を中学校から募集し、優秀作品を記載したパネルを地域の掲示板に掲示する
		5	○美化活動	○全年度取組計画の内容	○新型コロナウイルス感染症防止の観点から未実施		○四万十川流域地区で環境美化活動を行う
		1 3 5	○地域連携	○全年度取組計画の内容	○新型コロナウイルス感染症防止の観点から未実施		○県・国が推進する再犯防止推進計画に基づく再非行・再犯防止のための研修会を予定し、会としての取組等を協議する
17	高知県小中学校PTA連合会(7団体、約43,000名)	1	○活動方針として取り組む	○県小中学校PTA連合会総会において、「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ、取り組む	○事件・事故・災害から子どもの生命と安全が守られるよう研修会などで会員の意識啓発を行った		○県小中学校PTA連合会総会において「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ、取り組む
		1 5	○広報誌、ホームページへの掲載	○県小中学校PTA連合会の広報紙・ホームページに犯罪のない安全安心まちづくりに関する記事(地域で子どもを見守ろう)シンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う。(7月発行予定約50,000部)	○犯罪のない安全安心まちづくりに関する記事を掲載した広報紙「高知県PTA新聞(7月発行)を48,943部印刷し、会員の意識啓発を行った		○県小中学校PTA連合会の広報紙、ホームページに犯罪のない安全安心まちづくりに関する記事(地域で子どもを見守ろう)シンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う。(7月発行予定 約25,000部)
18	高知県小中学校長会(276名)	1	○情報交換の開催とパトロールの実施	○各学校と関係機関との情報交換を実施する。 緊急時における各学校と関係機関等との連絡体制の強化を行う。 ○保護者や地域の方と連携し、登下校時の見守りを行う。	○コロナ禍の中で情報交換の場が限られたが、できる限り連携に努めた。	○定期的な情報交換の場は重要であり、必要であるが、学校の多忙化の中で、情報交換を増やしていくのは厳しい状況にある。	○令和4年度も令和3年度の計画と同じように実施したい。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
18	高知県小中学校長会 (276名)	5	○研修会の実施	○高知県小中学校長会や各学校において、継続した危機管理の研修などを行うとともに、その内容を充実させていく。	○コロナ禍の中で校長会としての研修は実施できなかった。	○年々多様化・複雑化している学校現場の中で、取組がなかなか追いついていない状況がある。	○令和4年度も令和3年度の計画と同じように実施したい。
			2 3	特殊詐欺被害防止対策の実施	○各学校において、教職員や児童・生徒・保護者に対する研修を行う。 児童・生徒を通じた高齢者の被害防止への啓発活動を行う学校を増やしていく。		○特殊詐欺被害防止の取組が必要であり、重要であるが、なかなか全体には広がっていない状況にある。
19	高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 (スクールガード・リーダー39名)	1	○学校内外の巡回、学校等への指導助言、見守り活動等	○21市町村で39名にスクールガード・リーダーを委嘱し、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、子どもを見守る巡回活動や学校及びスクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導助言を行う。 ○年1回の高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会を実施し、充実したスクールガード・リーダーの活動が行われるよう、防犯や子どもの安全に関する研修や情報交換等を行う。	○21市町村で39名にスクールガード・リーダーを委嘱し、幼保小中合わせて154校へ巡回指導を実施した。子どもの見守り活動の促進、学校内外の防犯環境及び組織体制の整備等について、専門的な指導助言を適宜行い、子どもの安全の確保に努めた。 ○高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会を開催し、スクールガード・リーダーの活動の充実に向け、防犯や子どもの安全に関する研修や情報交換等を行った。 ・令和3年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会 日時：令和3年5月13日(木)13:30～15:30 会場：オーテピア高知図書館 参加人数：13人	○スクールガード・リーダーが、防犯の観点から、学校内外で子どもの安全を守る巡回指導等を継続的に実施しており、子どもや保護者からの信頼も厚く、地域の犯罪防止・抑止力になっている。一方、スクールガード・リーダーを委嘱する市町村が固定化しており、他の市町村にも体制を広げる必要がある。 ○スクールガード・リーダーが、スクールガード(学校安全ボランティア)の活動に指導助言役として効果的に関わり、専門的な知見を活かした見守り活動が展開されるよう、市町村に働きかけていく必要がある。 ○スクールガード・リーダーの高齢化に伴う人員確保が課題となっている。	○21市町村で39名にスクールガード・リーダーを委嘱し、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、巡回指導や学校及びスクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導助言等を行う。 ○スクールガード・リーダーの活動の充実に向け、研修や情報交換の場として、スクールガード・リーダー連絡協議会を開催する。(新型コロナウイルス感染症の影響がある場合は、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会を実施する。) ○各市町村及び学校における「登下校防犯プラン」に基づいた取組に協力していく。
20	高知県経営者協会 (263団体)	5	○会員への広報	○「安全・安心まちづくりニュース」を機関誌配布時やホームページ等を通じて会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。	○「安全・安心まちづくりニュース」を機関誌配布時に同封して会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかけた。		○「安全・安心まちづくりニュース」を機関誌配布時やホームページ等を通じて会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。
21	高知県商工会議所連合会 (6団体、約6,800名)	1 2 3 4	○広報活動	①会員企業に対して、広報誌やホームページ等を通じて地域安全について理解、協力依頼を行うなど、間接的防犯活動の実施 ②啓発ポスターの掲示	①自主防災活動への協力依頼記事を、シンボルマークとともに広報誌「高知商工会議所 会報2月号」に掲載、会員企業・関連施設に3200部配布 ②年間を通じ当所掲示場所に啓発ポスター(声かけサポート)運動、鍵かけ確認、安全見守り隊 など)掲示	○高知商工会議所以外の県内商工会議所広報誌への啓発広告掲載がなかった。	○機関誌への啓発記事掲載 ○啓発ポスターを掲示

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
22	高知県商工会連合会 (25団体、約157名)	1	○地域見守り防犯活動の実施	○地域の安全・防犯のため見守り活動を(パトロール)を行う。	○自主防犯パトロール(不定期)	○業務が忙しく不定期となってしまう	○令和3年同様に、継続して実施する
22	高知県商工会連合会 (25団体、約157名)	2 5	○犯罪等予防のための連携				○令和4年度から新規 県警と犯罪等の予防にかかる連携協定を締結。 事業者が対象となる犯罪を未然に防止、従業員が家族・地域住民の方を犯罪や事故の被害から守る活動を推進する。
23	高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 (9支部、197事業所)	1	○「子ども110番の宿」活動の実施	○組合青年部による子どもを守る活動の「子ども110番の宿」活動の普及に努める ○子供が宿に助けを求めてきた場合、子どもを保護するとともに、子どもに代わって110番通報をする	○10月28日青年部研修会にて「子ども110番の宿」について意識啓発		○組合青年部による子どもを守る活動の「子ども110番の宿」活動の普及に努める ○子どもが宿に助けを求めてきた場合、子どもを保護するとともに、子どもに代わって110番通報をする
		5	○全国地域安全運動等への参加	全国地域安全運動、年末年始における防犯活動へ参加	○新型コロナウイルス感染症のため、各会書面による賛同		○全国地域安全運動、年末年始における防犯活動へ参加 ○組合青年部員施設に「高知県犯罪のない安瀬南進町づくりポスター」を掲示
24	公益社団法人 高知県建築士会 (会員約1,000名)	5	○高知県建築士会報・ホームページへの掲載	①会報「高知 建築士」に記事を掲載し、会員等に配布 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力	①会報「高知 建築士」に県からの啓発記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④新型コロナウイルスのため中止		①会報「高知 建築士」に記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力
25	高知県共同住宅防犯協議会	4	○広報啓発活動		○実績なし		
26	高知県金融機関防犯連合会 (43団体)	2	○情報提供の推進	○特殊詐欺の手口が多様化していることから、犯罪情勢に応じたタイムリーな情報発信を行い、「だまされないための対策」を強化する。 被害に遭っている可能性の高い顧客等に対する声かけを積極的に行い、警察への通報を呼び掛けるなど未然防止を図る。	○特殊詐欺被害の認知及び予兆電話の多発等があった場合は、警察からの依頼により各店舗に対して、顧客への注意喚起、ATM警戒等の連絡をし、被害防止対策に努めた。 また、銀行内のデジタルサイネージ等で特殊詐欺被害防止広報を実施した。	○特殊詐欺被害及び予兆電話は手口が変遷することから、タイムリーかつ効果的な情報発信を行う必要がある。	○特殊詐欺の手口が多様化していることから、犯罪情勢に応じたタイムリーな情報発信を行い、「だまされないための対策」を強化する。 被害に遭っている可能性の高い顧客等に対する声かけを積極的に行い、警察への通報を呼び掛ける等未然防止を図る。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
		2	○被害防止対策の推進 ○特殊詐欺被害を未然防止するため、警察と連携をとり、最新の手法や多発している手法に対する注意喚起や声かけ訓練等を推進し、被害防止対策の強化を図る。 また、顧客の安全を守るため、店内巡回、駐車場の見守り活動等を促進し、犯罪のない安全安心まちづくりの確立を目指す。	○特殊詐欺被害に遭っている可能性が高い顧客への声かけを実施し、被害の未然防止に努めた(令和3年中の金融機関における未然防止18件)。 各店舗において声かけ訓練を実施し、未然防止対策の強化を図った。 還付金詐欺の予兆電話が多発したことから、ATM付近において携帯電話の通話をしない「STOP! ATMでの携帯電話」宣言を行うとともに、無人のATMコーナーへアナウンス機能付き看板を設置して、被害防止対策を図った。	○今後も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるおそれがあり、非接触型の抑止対策を検討する必要がある。	○特殊詐欺被害を未然防止するため、警察と連携をとり、最新の手法や多発している手法に対する注意喚起や声かけ訓練等を推進し、被害防止対策の強化を図る。 また、顧客の安全を守るため、店内巡回、駐車場の見守り活動等を促進し、犯罪のない安全安心まちづくりの確立を目指す。	
26	高知県金融機関防犯連合会 (43団体)	5	○店舗の防犯体制の強化 ○カラーボールの配置、防犯カメラ、緊急通報装置の点検、効果的な活用を図り、店舗の防犯体制を強化する。 警察と連携し、実践的な強盗対応訓練を実施する。	○各店舗が、警察と協力した強盗対応訓練を実施し、店舗の防犯体制や通報体制を強化した。	○訓練を継続的に実施し、有事における適切な対応について、意識の醸成を図る必要がある。	○カラーボールの配置、防犯カメラ、緊急通報装置の点検、効果的な活用を図り、店舗の防犯体制を強化する。 警察と連携し、実践的な強盗対応訓練を実施する。	
		5	○全国地域安全運動等への参加 ○全国地域安全運動、年末年始における犯罪抑止活動(特別警戒)へ参加する。	○全国地域安全運動期間中に、特殊詐欺等被害防止にかかる広報啓発キャンペーン等を実施し、特殊詐欺、その他犯罪被害防止に関する意識の高揚を図った。	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種キャンペーン等の制限があったが、今後も継続的に行事に参加し、犯罪の未然防止について、意識を醸成する必要がある。	○全国地域安全運動、年末年始における犯罪抑止活動(特別警戒)へ参加する。	
27	高知県石油業協同組合 (171団体、約249名)	1	○地域安全シェルターかけこみ110番連絡所活動 ○「かけこみ110番連絡所」の継続実施	○計画どおり実施		○「かけこみ110番連絡所」の継続実施	
		5	○自家発電機点検及び稼働運転 ○自家発電機点検及び稼働運転	○計画どおり実施		○自家発電機点検及び稼働運転	
		5	○資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練参加 ○資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加	○計画どおり実施		○資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加	
28	高知県理容生活衛生同業組合 (理容業団体、約320名)	1	○安全シェルター活動(こども110番の車)の実施 ○前年度取組計画の内容	①所属店舗(店舗数320店)に、「みんなをまもる店110番」のポスターを配布した。	○全組合員が掲示する状況になっていない。	○繰り返し、掲示の要請をしていく。 ○また、組合の活動の一環であり、「地域に根差した店舗」としての取組であることの周知を徹底し、浸透を図りたい。	

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
		5	○広報誌「理容高知」への掲載 ○高知支部広報誌「くろしお」への掲載	○前年度取組計画の内容	○発信の場として、活用できていなかった。		①広報誌「理容高知」に犯罪のない安心安全な街づくりに関する記事を掲載し、組合員に配布し、浸透を図りたい。 ②高知支部広報誌「くろしお」にも取り上げて発信をより強化したい。
		2 3 4	○研修会等でのよびかけ	○前年度取組計画の内容	○発信の場として、活用できていなかった。		①具体的な被害の情報(新聞外)をもとに、各会議にて、問題を提示し、安心安全のまちづくりへの認知を各理事から、組合員に発信してもらえる組織づくりの強化を図りたい。
29	高知県遊技業協同組合	1 3	○総会に出席し活動方針を実施	○活動方針を事業活動に反映させる	○地域での子ども見守り活動(交通安全活動を含む)、などを実施。	○発展的継続	○前年度の取組事項の継続
29	高知県遊技業協同組合	1 3 4	○各ホール駐車場における防犯対策の実施	○子ども車内放置・車上狙い被害防止活動	○駐車場内巡回等により、1件3名(幼稚園児3名)の車内放置事案を解決(感謝状贈呈)。	○発展的継続	○前年度の取組事項の継続
		1	○児童養護施設への寄贈	○児童養護施設への児童用図書及び飲料水寄贈(クリスマスプレゼント)	○児童養護施設への児童用図書及び飲料水寄贈(クリスマスプレゼント)	○発展的継続	○前年度の取組事項の継続
30	一般社団法人高知県トラック協会(会員6支部416社、約8,000名)	5	○広報誌への掲載	○広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う	○広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行った。		○広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う
		1 3	○地域見守り活動の実施	○会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する	○会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施した。		○会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する
31	一般社団法人高知県警備業協会(会員42社約2,000人)	1	○地域における子供見守り活動	○県内各地において「青色回転パトロールカー」を使用した巡回・警戒・声かけ活動を積極的に実施し、子供を事件・事故から守る活動を展開する。	○令和3年度中、高知市、四万十市、嶺北地域において通学路や公園を中心に青色回転パトロール活動を99回実施した。 ○青色回転パトロールをより効果的に実施するため、高知県警Fネットの不審者情報をパトロール実施会員に提供し、重点的なパトロールの支援を行った。	○コロナ禍による休校や、活動の制限により実施回数が減少した。(対前年度比-50回)	○警備のプロの目を生かした青色回転パトロール活動を、より積極的に推進するとともに、実施会員の増加を呼びかけ、活動の更なる活性化を図る。
		5	○地域安全活動への積極的参加	○県や県警が行う各種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。	○高知県安全安心まちづくり推進会議総会に出席。その他の行事はコロナ禍により中止又は規模縮小となった。		○県や県警が行う買う種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。
32	高知県指定自動車学校協会(11団体、約250名)	5	○「安全安心まちづくりニュース」の配布	○全11支部に配布した	○計画どおりに配布することができた		○同様に配布する
		2 5	○教習所において高齢者交通安全教室を開催	○教習所の一泊開放行事等において高齢者交通安全教室を開催	○新型コロナウイルス感染症防止対策のため低調であった		○教習所において高齢者交通安全教室を開催する

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計	画	課 題	
33	株式会社ドコモOS四国高知支店(70名)	1 3	○公的機関依頼に基づく防犯運動等への参加	○官公庁が行う全国地域安全運動の活動等の諸活動への参加継続	○高知県警：高知県ネットワークセキュリティ連絡協議会研修会(オンライン研修会)への参加 ○高知地区安全運転管理者協議会主催：交通安全キャンペーンへの参加等	○感染症対策による諸活動への参加機会減少による社員意識啓発の継続性	○官公庁が行う全国地域安全運動の活動等の諸活動への参加継続
		1 3	○社員向け各種呼びかけ	○各種研修・周知による社員およびその家族への啓発活動を継続	○社内イントラネットへの「安全衛生ニュース」の発行(毎月)、事務所への掲示 ○社内向け安全運転研修の実施 ○安全運転管理者協議会連合会より配布の「歩行者優先・飲酒運転撲滅宣言車」ステッカーの社有車への貼付 ○「安全安心まちづくりニュース」の支店内周知の実施 ○各種デジタルツールを使用した安全に関する従業員教育の実施		○各種研修・周知による社員およびその家族への啓発活動を継続
34	日本貸金業協会高知県支部(4名)	5	○ポスターリーフレットの配布	○金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める	○支部・行政機関の相談窓口にて ・業務内容紹介及び消費者啓発リーフレット「一人で悩まずに」 ・貸付自粛制度パンフレット ・金融トラブル防止のためのQ&A BOOK ・金融ADR制度及びヤミ金融被害防止リーフレット等の啓発資料を備置し、配布した。		○金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める
34	日本貸金業協会高知県支部(4名)	5	○ホームページへの掲載	○協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。(ホームページURL：http://www.j-fsa.or.jp)	○協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を実施した。(ホームページURL：http://www.j-fsa.or.jp)		○引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。(ホームページURL：http://www.j-fsa.or.jp)
		5	○関係機関との連携	○行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努める。	○警察に対しヤミ金融被害等に関する情報提供を行った。(協会本部より警視庁へ) ○行政機関・消費生活センターへ訪問等により各種情報の共有を図った。 ○公営ギャンブル団体(競馬・競輪・オートレース・オートレース・パチンコ)に対し、貸付自粛制度の認知向上と相互連携を図った。		○行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努める。 ○成年年齢引き下げに伴う意見交換会を開催する。
		5	○消費者等からの相談対応	○消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。	○消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告への対応・相談等に応じ、助言・回答を行い、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止を行った。		○消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。 ○消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。 ○貸付自粛制度に関するリーフレットの配布やポスターの掲示を行い、制度の訴求を図ると共に消費者等の被害防止、啓発に努める ○若年者金融トラブルホットラインを開設(R4.4.1)し、対応にあたる。
		5	○講師の派遣	○各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。	○各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止・相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師派遣を行った。		○各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。
35	西日本電信電話株式会社高知支店(6事業所、約470名)	2 3 5	○ホームページへの掲載	○NTT西日本ならびにNTT高知支店の公式ホームページへ注意喚起を掲載(継続取組)	○NTT西日本ならびに高知支店の公式ホームページを通じた注意喚起を掲載 ・自然災害に関するおしらせ(電柱の倒壊や通信ケーブルの切断や垂れ下がりなど、NTT設備に関する不安全状況を発見した際の通報に関する協力のお願ひ) ・自動音声ガイダンスを利用し、NTT西日本を装った不審な電話への注意喚起		○NTT西日本ならびにNTT高知支店の公式ホームページへ注意喚起を掲載(継続取組)

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計	画	実 績	
		3 5	○「ハローページ」「タウンページ」への掲載	○ハローページ・タウンページへ掲載施策(継続取組)	○緊急情報案内・防災情報など、災害に対する取組をハローページに記載 ○防災タウンページの発行(避難所・公衆電話マップ) ○防災特集の掲載(災害への備え・対処方法)		○ハローページ・タウンページへ掲載施策(継続取組)
		5	○美化活動	清掃活動・花植え等、環境美化活動の実施	○おもてなし清掃への参加 ○常屋町シンボルロード花壇の花植え作業への参加		○環境美化活動(継続実施)
		5	○災害対策訓練の実施	社内外災害時対応訓練の継続実施	○社内災害時対応訓練の継続実施。		○災害時対応研修会(継続実施)
		1 3	○社員向け各種研修での呼びかけ	○社内ブログを利用した高齢者の被害防止等への啓発活動を実施 ○ポスター・チラシを活用した安全情報の提供	○社内ブログを通じ、社員への各種啓発活動を実施 ①飲酒運転撲滅に向けての参考知識 ②安全運転のポイント ・アクセルとブレーキの踏み間違い ・運転上のふとした疑問 ③児童虐待 ④自転車の交通マナーを高める 等 ○安全朝礼の実施ならびに安全・衛生ニュースの発行を実施(毎月)		○社内ブログ・各種研修による、社員およびその家族に対するの被害防止啓発活動(継続取組)
36	株式会社 高知銀行 (56店舗、約600名)	5	○行内報への掲載	○行内誌「あけぼの」に掲載し、意識啓発を行う。	○内誌「あけぼの」に安全安心まちづくりに関する記事を掲載し、行員の意識啓発を行った。	○隔月発行のため、記事掲載に余裕が少ない。	○引き続き、行内報「あけぼの」に掲載し、意識啓発を行う。
		1	○安全シェルター活動の実施	○「子ども110番のぎんこう」のアピールを各支店に指示して、公に広める活動をする。	○営業店に「子ども110番のぎんこう」シールを貼付し、こどもの見守り活動を行った。	○活動時間が営業時間に限られ下校時の対応が難しい。	○本年度も継続実施する。
		2	○「認知症サポーター」養成	○新入行員すべてに認知症サポーター養成講座を受講させる。	○認知症サポーターは、令和3年度新たに23名養成し369名に、また養成講座の講師役となるキャラバンメイトは1名と前年と同数のままです。	○営業店によって資格取得者のバラツキがあり、適正な人員配置が課題である。	○令和4年度も新入行員39名全員に認知症サポーター養成講座を受講させる。
37	四国電力株式会社 (四国電力高知支店、四国電力送配電高知支社、四国電力送配電中村支社) 人数:64名(県内四電委託検針員)	1 2 3	○地域見守り活動の実施	○検針員やお客さまと接する機会の多い従業員による見守り活動を実施する。	○日常業務を通じて、高齢者宅訪問時等での声掛けや、居住宅で郵便受け、ポストに滞留物が無いかな等の異常の発見に取り組んだ。 ○下校時の子供の動向に注意して、特に安全に気を付けた声掛けを行った。 ○高知支社管内では、検針員による「活動月間」を10月に設定するなど、より意識を持った取り組みに努めた。	○コロナ禍の影響で、声掛けが難しい状況となっている。 ○スマートメーターの普及拡大により、検針の自動化や無線検針が可能となり、民家への訪問件数が減少している。また、検針員も減少している。	○引き続き、検針員やお客さまと接する機会の多い従業員による見守り活動を継続する。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
38	一般社団法人 高知県産業廃棄物協会 (正会員 108社 賛助会員 15社))	5	○事業計画の樹立	①各会議等で、この会議の取り組み等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布等を継続して行う。	①理事会等において、この会議の取組等の説明を行った。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布を行った。	○特になし	①各会議等で、この会議の取組み等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布を継続して行う。
		4	自主行動の強化 ○自助・共助活動 ○広報、啓発活動	①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ○自助・共助活動 ②事業所内へポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。	①事業所はもとより、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を講じた。 ②啓発ポスターを事業所内の目立つところに掲示した。	○特になし	①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ②事業所内へポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。
		5	○推進会議から要請、事務連絡に対する適切な対応	○会報「安全安心まちづくりだより」、広報紙「安全安心まちづくりニュース」等を会員へ送付する。 高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡は迅速に会員事業所へ通知すると同時に、要請事項に対して、誠実に実行する。	・会報「安全安心まちづくりだより」 (令和3年度第1号)送付6/23 (令和3年度第2号)送付9/29 (令和3年度第3号)送付11/22 (令和3年度第4号)送付3/15 ・「安全安心まちづくりニュース」 (2021年度第1号)送付7/15 (2021年度第2号)送付9/21 (2021年度第3号)送付11/22 (2021年度第4号)送付3/7	○特になし	引き続き、会報「安全安心まちづくりだより」「安全安心まちづくりニュース」等を会員へ送付する。 高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡は迅速に、会員事業所へ通知すると同時に、要請事項に対して、誠実に実行する。
39	高知県自転車二輪車商協同組合 (12団体、約72名)	1 3	○通学用の自転車安全点検(無料)	○高知市または各市町村で近くの小中学校に出向き、自転車の無料点検をすることにより、子どもを交通事故から守り安全な生活を見守る	○高知市役所より依頼のあった高知市内小中学校へ地域の組合自転車店が出向き通学用自転車の無料点検等を実施。令和3年は64校実施	○年々高齢化と組合店の減少で実施が困難になりつつある	○令和3年度と同様に実施予定であるが天候やコロナの影響により実施困難となるおそれがある
		1 3	○店舗型自転車無料点検	○取組希望の組合店に持ち込まれた自転車を無料点検し、子どもを事故からまもり安全な生活を見守る	○一週間から10日くらいの予定で、市内の3店の組合店により、春、秋に来店の希望者の自転車を無料で点検し、修理が必要な場合は実費で修理を行った。	○参加を希望する店が少ない	○令和3年度と同様に実施予定であるが天候やコロナの影響により実施困難となるおそれがある
40	コカ・コーラボトラーズ ジャパン株式会社高知支店(5名)	1	○安全シェルター活動 子どもSOSの車両	○こども見守り活動の実施 業務中におけるこどもの安全を確保すべく、車両にステッカーを貼り啓発を実施	○車両へのステッカー貼付けを行いこどもを危険から守ることを実施しました。(危険な状況時には車両へ一時確保をする) 昨年度は幸いにも発生がありませんでした。	○ステッカーの老朽化	○引き続き子供たちの安全を守る事を目的に、業務中の車両運行時はもちろんのこと、それ以外の場合におきましても、子供を危険な状況から守る活動を実施致します。
41	株式会社四国銀行 (高知県内52店舗)	2 3	○振り込め詐欺の防止	○窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで振り込め詐欺被害防止を行う ○ATMコーナーには、犯罪被害防止のチラシ等を設置	○窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで、振り込め詐欺被害防止を行った ○お客様の目に留まるところに、犯罪被害防止のチラシ等を設置	○振り込め詐欺撲滅には至らず。	○窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで振り込め詐欺被害防止を行う ○ATMコーナーには、犯罪被害防止のチラシ等を設置

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
42	リコージャパン株式会社 高知支社 (社員76名)	1	○地域で子どもを見守ろう	○幼稚園、保育園への防災セミナー実施「避難訓練2.0」	○幼稚園、保育園へ南海トラフ地震防災セミナー実施 (21年9月 園で開催し保護者向Zoom配信) (21年11月RJ事業所にて開催) ○防災セミナー紹介動画の社内共有 新しい避難訓練のカタチ・避難訓練2.0 ~高知市・認定こども園 若草幼稚園 https://www.youtube.com/watch?v=T-0ps6CjTFw	○コロナ禍でも感染対策を徹底した参加型セミナー開催 ○社員の取組に対する意識向上	○地域で子どもを見守ろう 幼稚園・保育園へ継続した防災啓発活動実施 防災啓発活動への社員の参加
		2	○特殊詐欺の被害を防ごう	○ネット犯罪防止のためのセミナー開催、取引先へ配布する情報誌へ防止対策掲載	○セミナー開催や訪問時の対策チラシ配布による犯罪防止活動の実施。 ○Emotetなどウィルス対策、セキュリティ対策商品のご提案など、ネット犯罪防止対策の周知 ○営業訪問時のセキュリティ診断実施。 ○「安全安心まちづくり防犯ポスター」の社内掲示。	○セキュリティソリューションの継続提案による情報セキュリティの強化。 ○社員のセキュリティ関連知識の向上	○特殊詐欺の被害を防ごう ・セミナー開催(22年7月・11月開催予定)や訪問時に対策チラシを配布するなど、犯罪被害防止活動の実施 事業所内に「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」を掲示。
43	一般社団法人高知県建設業協会 (12団体、会員数448社)	1	○地域見守り活動の実施(嶺北支部)	毎月20日前後に青色回転灯装備車輛によるパトロール	○青色回転灯装備車輛によるパトロール ○会員による出社 ○退社時の見守り	○児童の減少 ○過疎化	○毎月20日前後に青色回転灯装備車輛によるパトロール
		1	○地域見守り活動の実施(高知支部)	○年4回(6月・9月12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する	○12月に中心街地域で、高知県警察署にも協力いただき、防犯パトロールを実施した。コロナの影響で、6月・9月・3月は実施できませんでした		○年4回(6月・9月・12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する
		1	○地域安全活動の一環で自動見守り活動実施	○朝の登校時、児童の見守りを地元の警察署、学校、PTA、近隣の住民と連携して行う。地区ごとに当番制にして団体の会員全員が参加する	○年間8月を除く毎月第3木曜日の朝、児童の登校時(7時~8時頃)に2名ペアで近隣の小学校通学路、また、横断歩道などで児童の安全を見守る活動を実施	○年間の当番表に基づきなるべく負担を少なく継続していく	○継続事業として次年度も同様に取り組む
		5	○地域防犯活動年末防犯パトロール	○年末の商店街、繁華街を徒歩で巡回、放課後及び冬休み前の児童、生徒等へ夜間の防犯を呼び掛ける。また、地域住民にも呼びかけを行い、犯罪の無い街づくりを目指す	○2年度、コロナ感染拡大により中止したが、3年度は実施した。	○本年度、市街地へ抜けるバイパス道が完成し町中を通過する車両がぐんと減った。 ○町の商店街は人影が少ないが今後も継続する予定	○継続事業として本年度も実施の予定
43	一般社団法人高知県建設業協会 (12団体、会員数448社)	5	○防犯パトロール(高吾北支部)	○毎月1回 日を設定して3班で交代	○越知地区 毎月第3金曜日3班で交代 延べ28名 ○仁淀川地区(旧吾川地区)毎月25日3班で交代 延べ59名 ○佐川地区 出来る時 時々延べ3名	実施できていない地区もある	○3年度と同じ
		1 3	○地域見守り活動(中村支部)	○四万十市民祭本祭にて、防犯パトロール	○コロナウイルス感染症の感染拡大により市民祭の中止		○7月末及び8月末に行われる、四万十市民祭の本祭もしくは、四万十花火大会における防犯パトロール
		1 3	○地域見守り活動(中村支部)	○一條大祭宵宮にて、防犯パトロール	○11月22日(月)夕方、一條大祭宵宮会場周辺で、会員企業より22名参加し防犯パトロール	参加人数、もう少し多く	○毎年11月末に行われる、一條大祭宵宮における防犯パトロール
		1 3	○地域見守り活動(宿毛支部)	○毎年7月に行われる、やいと川花火大会における防犯パトロール	○花火大会が開催されなかった為、実施されなかった	参加者数の伸び悩み	○同花火大会にて同様の防犯パトロール
		1 3	○地域見守り活動(宿毛支部)	○毎年10月に行われる市民祭宿毛まつり花火大会における防犯パトロール	○市民祭が開催されなかった為、実施されなかった	参加者数の伸び悩み	○同市民祭にて同様の防犯パトロール

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
44	NPO法人高知県防犯設備協会 【法人会員14社、約200名】	1	○児童の安全を守る活動(会員企業ミタニ建設工業)	○登下校時の通学路安全活動	○高知市朝倉小、朝倉中学校周辺の通学路で、登下校時の安全指導を実施。(月4回、1回につき7名前後参加。)	○コロナ禍の感染防止対策を徹底しながらの活動のため、声かけ、接近などに配慮しながら実施。	○前年に同じ。
		1 2 3 4	○地域見守り活動の実施(会員企業ミタニ建設工業)	○防犯パトロール	○高知市朝倉地区地域見回りパトロール(月2回、夕方1～2時間)	○同上	○前年に同じ。
		1 2 3 4	○地域見守り活動の実施(会員企業有限会社くろしおジャパンがみどり野自主防災防犯連合会の取組)	○防災・防犯・交通安全パトロール	○野市町みどり野地区(隔月土曜日夕方、月2回、子供、保護者、連合会会員など1回につき、7～10名参加)。	○同上	○前年に同じ。
		5	○安全パトロール(当協会藤川精二郎理事が主催)	○公園内見守りパトロール	○高知市秦泉寺公園における夜間の花火等による騒音問題に対処するため、住民有志と共に防犯見回りを実施。	○同上	○前年に同じ。
		5	○防犯カメラ、設置促進・啓発活動の推進。	①警察との情報交換等	①警察署長・担当課長と随時意見交換。 ②防犯優良集合住宅認定制度の普及活動。 ③猟友会員宅の防犯対策として、防犯カメラの設置促進。令和4年6月1件実施。	○コロナ禍で活動不調。	①②前年に同じ。 ③集合住宅の防犯対策(優良集合住宅認定制度)成約に注力。 ④猟友会員宅の銃保管安全対策に注力。
		5	○研修会の開催。	○会員対象			○防犯・安全機器メーカー担当者による最新機器に関する研修会を実施する。
45	セクスイハイム東四国株式会社	2 3	○防犯、防災目的の警察との連携	○防犯、防災目的の警察との連携	○特殊詐欺防止チラシ配布	○人により配布忘れが有り	○特殊詐欺防止チラシ配布(オーナー向けの書類に同封)
46	ダイドー・タケナカベンディング株式会社	2	○特殊詐欺撲滅支援ベンダー(自動販売機)の設置、推進	○被害防止を呼び掛ける音声付自動販売機(ダイドードリンコ)を設置することにより、広告パネルとアナウンスで被害防止を呼び掛ける	○新規設置のご案内と既存設置先の管理を実施	○設置先様のご理解とご協力がないと設置できないということが課題	○特殊詐欺の手口も増えてきているので、県警のアナウンスと共に、引き続き「特殊詐欺撲滅支援ベンダー」の認知度向上と設置を推進する。
47	ほっかほっか亭四国本部株式会社ほっかほっかフーズ	1 2 3 4	○お弁当包装紙デザインの活用	○前年度取組計画の内容	○高知県内41店舗のほっかほっか亭でお弁当包装紙のデザインを防犯ポスターとコラボさせていただきお客様へ提供した。 令和3年度約30,000枚を使用		○デザインのリニューアル
		1	○こども110番の家	○前年度取組計画の内容	○高知県内41店舗のほっかほっか亭に安全シェルターのステッカーを貼付した。 ○社用車へこども110ばんのくるまステッカーを貼付した。		○継続

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
48	あいおいニッセイ同和損害保険(株)高知支店 (1事業所 約35名)	1 3	○登校中の見守り活動	○高知市立昭和小学校の登校時の見守り活動を月1回実施する。	○計画通り実施。	○特になし。	○令和3年度と同様の取組を実施予定。
48	あいおいニッセイ同和損害保険(株)高知支店	1 3	○横断歩道での見守り活動	○高知市知寄町2丁目交差点の横断歩道での見守り活動を月1回実施する。	○計画通り実施。	○特になし。	○令和4年度と同様の取組を実施予定。
49	損害保険ジャパン株式会社 高知支店 (約80名)	1	○黄色いワッペン贈呈事業	①2021年度も継続して当社の「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈 ②環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑性を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ③2021年度 スローガン:「手をあげて じぶんで まもろう いのちのあいず」のポスター掲示	○交通安全の啓発と交通事故防止を目的に高知県下の新小学一年生に「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈。昭和40年(1965年)より実施してきた継続事業であり、2021年で57年目となる。	—	①2022年度も継続して当社の「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈 ②環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑性を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ③2022年度 スローガン:「きいろのきは きをつけるのき」のポスター掲示
		1 3	○「安心で安全なクルマのある」暮らしの提供と「安心して運転でき、事故が起らない」社会づくり	①つながるドライブレコーダー「Driving!」を提供 ②CM放映、社内ポスターの掲示等により認知度向上	①社員・当社委託代理店向けに社内研修を実施し、高知県におけるドライブレコーダー市場の現状確認、必要性や販売手法等を周知 ②つながるドライブレコーダー「Driving!」の件数アップが進展 ③CM放映、社内ポスターの掲示により認知度向上 ④高知県警と共同でチラシを作成・配布し事件事故防止を啓発し、同時にDriving!の認知度向上。	○「Driving!」の認知度向上によるドライブレコーダーの普及率アップと事故削減、安全なまちづくりへの更なる貢献	①つながるドライブレコーダー「Driving!」の更なる周知と件数アップ ②CM放映、社内ポスターの掲示など各種ツールを活用した認知度向上 ③法人向け「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート
		3	○高齢者を事故から守る取り組み	①高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、啓発チラシを配布。 ②スマートフォン向け無料「カーナビアプリ(ポータブルスマイリングロード)」で事故多発地点アラートなど事故防止に役立つ情報を提供。	①当社委託代理店へ啓発チラシ配布。 ②高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、高知県警と共同で啓発チラシを配布。	○当社が保有する事故データも活用した事故多発交差点の情報提供などの啓蒙	①高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、啓発チラシを配布。 ②法人向け「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート
		5	○社内無事故・無違反運動の実施	○年2回、社内無事故・無違反強化運動を実施し、社員ひとり一人の意識を向上。	①6月1日～8月31日の期間において無事故○無違反運動を実施 ②11月1日～1月31日の期間において飲酒運転絶滅運動を実施 ③社員の意識も高まり、無事故○無違反を継続している。 ④高知地区安全運転管理者協議会の発行する無事故○無違反事業所章の交付をつける ⑤運転前のアルコールチェック体制の強化	—	①年2回、社内無事故・無違反強化運動を実施し、社員ひとり一人の意識を向上。 ②2022年4月からアルコールチェック体制を厳格化
50	全国共済農業協同組合連合会高知県本部 (約90名)	1	○JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催	○県内4カ所で開催	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催できていない。	○今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本来の取組みができなかった。全国本部と今後の対応策を協議する。	○新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみつ、各JAならびに全国本部との調整の上での計画を予定。
		3	○自転車交通安全教室の開催	○県内4カ所で開催	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催できていない。	○今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本来の取組みができなかった。全国本部と今後の対応策を協議する。	○新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみつ、各JAならびに全国本部との調整の上での計画を予定。

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計 画	実 績	課 題	
		3	○シルバー世代向け交通安全教室の開催	○県内5カ所で開催	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1カ所しか開催できていない。 (高知県警察本部にて開催)	○今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本来の取組みができなかった。全国本部と今後の対応策を協議する。	○新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみつ、各JAならびに全国本部との調整の上での計画を予定。
		5	○介助犬教室の開催	○県内4カ所で開催	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1カ所しか開催できていない。 (JA高知県十市支所にて開催)	○今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本来の取組みができなかった。全国本部と今後の対応策を協議する。	○新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみつ、各JAならびに全国本部との調整の上での計画を予定。
51	株式会社ローソン高知(約40名)	3 5	○災害時帰宅支援	○【前年度取組計画の内容】	○新店の店頭「災害時帰宅支援」のステッカーを貼付。	○積極的な周知ができていない。	○各店舗の店頭「災害時帰宅支援」のステッカーを貼付。 ⇒ステッカー貼付による啓発の目的を意識付け
		2	○特殊詐欺の被害防止	○【前年度取組計画の内容】	○年6か所の所轄警察署に協力いただき、特殊詐欺防止の防犯訓練を実施し、各店舗の意識付け、対応方法の周知を広げる。	○1人の少額、購入の件数が低ければ、通常購入と思ひ、声掛けが行き渡らない場合がある。	○防犯訓練を継続して実施していくよう、所轄警察署に協力依頼し、特殊詐欺防止に努める。
52	セコム高知株式会社(約113名)	1	○青パトによる防犯パトロール	○前年度同様に、月2回程度、青色回転灯をつけた車両で、主に各学校近辺を主としたパトロールを実施。	○令和3年度は合計24回パトロールを実施。パトロール中特に事件・事故と見受けられるような事案は無かった。	○業務上の合間をぬってのパトロールなので下校時間と合わない場合もある。	○月2回を基本として、青色回転灯をつけた車両で、主に各学校近辺を主とした防犯パトロールを実施。
		1	○子ども110番の家	○「子ども100番の家」のステッカーを貼付(蔦絵台の事業所)。特に子どもへの防犯を意識し地域の安全に貢献する。	○令和3年度は令和2年度と比べ、子どもの訪問は少なかった。コロナによる影響と思われます。	○特になし。	○「子ども100番の家」のステッカーを事業所(蔦絵台の事業所)に貼付済み。子どもへの防犯を意識し地域全体の安全に貢献する。
53	株式会社フジ高知運営事業部(8団体、約450名)	5	○「安心安全まちづくり」	○【前年度取組計画の内容】	○コロナの為、開催なし(フジグラン高知)	○コロナ禍において最善の対策を実施する	○10月2日(日)で計画。地域の行政と弁護士との参画で、生活者のお悩み相談会を実施し、地域のお役に立てることを目的とする (担当窓口:フジグラン高知 業務課長 高橋)
		2	○「ATM詐欺防止キャンペーン」	○【前年度取組計画の内容】	○フジグラン高知にて12月15日(年金支給日に合わせて)に、『特殊詐欺防止のチラシ配布』。配布場所は、お客様出入口(南口玄関)ならびにATM付近	○コロナ禍において最善の対策を実施する	○日程は未定 最寄りの高知南警察署と連携を図り、実施に向けて計画していく (担当窓口:フジグラン高知 業務課長 高橋)
		1 2 3	○「出前交番」	○【前年度取組計画の内容】	○コロナの為、開催なし(フジグラン高知)	○コロナ禍において最善の対策を実施する	○月に1回、高知南署の方々到店舗にて、地域住民からの相談事や情報交換を行う事で、地域の安心・安全の推進を図る。 (担当窓口:フジグラン高知 業務課長 高橋)

事業者・団体等の令和3年度取組実績及び令和4年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等名称	重点項目	取組	令和3年度に行った取組			令和4年度に行う予定の取組
				計	画	課 題	
		1 2 3 5	○防災・防犯・交通安全フェア	【前年度取組計画の内容】	○フジグラン野市にて、5月5日(子供の日に合わせて)に、生活館前平面駐車場にて、警察署・消防署・自衛隊の協力を受け、防災・防犯に関する体験型フェアを実施	○コロナ禍において最善の対策を実施する	○昨年同様、5月5日実施にむけて調整中。地域のお客様に防災・防犯・交通安全に対する意識を高めてもらう目的として実施。起震車やベルトコンベヤー(車の衝突体験)も実施し、多くの人に体験していただく。(担当窓口:フジグラン野市 業務課長 中谷)
			○防災・防犯・交通安全フェア	【前年度取組計画の内容】	○コロナの為、開催なし(フジ宿毛店)	○コロナ禍において最善の対策を実施する	○5月5日実施にむけて調整中。災害リスクの高い宿毛地域において、各省庁や自治体との協働により実施することで、地域住民の方々の防災・防犯・交通安全についての意識向上を図る(担当窓口:フジ宿毛店 店長 河野)
54	株式会社ダスキン 中国・四国地域本部 (加盟店11店、約400名)	1	○子ども見守り活動	○高知県警察本部と協定を結んでいる「地域見守り隊」のステッカーを業務車両に標示して子ども見守り活動を実施し、犯罪等の被害防止活動や、不審者、不審車両などを発見した際の警察への通報などを行う活動を推進する。	○業務車両に「地域見守り隊」のステッカーを標示して業務を行い、子ども見守り活動を積極的に実施した。	○活動実績が形として見えてきていない。	○高知県警察本部と結んでいる「地域見守り隊」のステッカーを業務車両に標示して、子どもの見守り活動を実施し、犯罪情報等を見たり聞いたりした場合には積極的に警察に通報する活動を推進する。
			○高齢者など地域見守り活動	○定期レンタル業務を通じて、4週間に1度お客様の家庭を訪問させていただき、地域のお年寄りに直接声掛けを実施し、犯罪や事故などの未然防止活動や注意喚起を推進する。	○レンタル業務を通じてお客様のご家庭を訪問させていただき、お年寄り特に独居者に直接声掛けを行った。	○コロナ禍のため、お客様に直接お声をかけることが困難な場面が発生した。	○レンタル業務を通じて、お客様のお宅に訪問させていただき、お年寄りや独居者等に積極的にお声をかけを実施し、犯罪情報の提供や事件事故の未然防止活動を推進する。
		2	○特殊詐欺防止活動	○弊社の製作する特殊詐欺被害防止マットを活用した特殊詐欺被害防止啓発活動を推進し、さらに高知県警察本部から発信されている「あんしんFメール」による最新の特殊詐欺手口を、レンタル業務でお客様宅を訪問させていただいた際にお伝えし、特殊詐欺被害の防止活動を推進する。	○高知県警察本部からの情報により、最新の特殊詐欺手口を業務会議等でレンタル担当者や情報共有してお客様にお伝えする活動を推進した。弊社の特殊詐欺被害防止マットを金融機関等に設置させていただき、ご利用のお客様に注意喚起をした。	○特殊詐欺の新しい手口が短期間で頻繁に変わるため、伝達が遅れることがあった。	○高知県警察本部から発信される特殊詐欺の最新手口を、業務会議等で情報共有し、リアルタイムでお客様にお伝えする活動を推進する。弊社作成の特殊詐欺被害防止マットを利用した特殊詐欺被害防止活動を推進する。
			○地域美化活動	○弊社は創業以来「身近に、未来に、エコのタネまき」という環境スローガンのもと、地域のごみ拾い活動を行ってきており今後もこの活動を継続して推進する。	○定期的に地域のごみ拾い活動を実施した		○弊社の環境スローガンに基づき、地域のごみ拾い活動を引き続き推進する。
55	ミタニ建設工業(株) (約30名)	1	○地域見守り活動の実施	○会社周辺の通学路における児童等の見守り活動の実施計画。(毎月1. 10. 20. 25日の4回実施)	○会社周辺の通学路における児童等の見守り活動を実施した。(毎月1. 10. 20. 25日の4回実施)	○習慣化はしているが、慣れによる活動意欲の低下(ボランティア参加者の減少)。	○会社周辺の通学路における児童等の見守り活動を実施予定。(毎月1. 10. 20. 25日の4回実施)。意欲高揚を目的とした粘り強い声掛け
			○地域見守り活動の実施	○会社周辺の通学路における青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施計画。(毎月1. 10. 20. 25日の4回実施)	○会社周辺の通学路における青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施した。(毎月1. 10. 20. 25日の4回実施)	○特になし。	○会社周辺の通学路における青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施予定。(毎月1. 10. 20. 25日の4回実施)
		○安全シェルター活動(子ども110番の実施)	○会社各営業所、出張所への(子ども110番ステッカー)の掲示を計画。	○会社各営業所、出張所、並びに現場事務所約15か所への(子ども110番ステッカー)の掲示を行った。	○各営業所、出張所に人が常駐していないケースがある。	○引き続き現場事務所への(子ども110番ステッカー)の掲示を予定。	